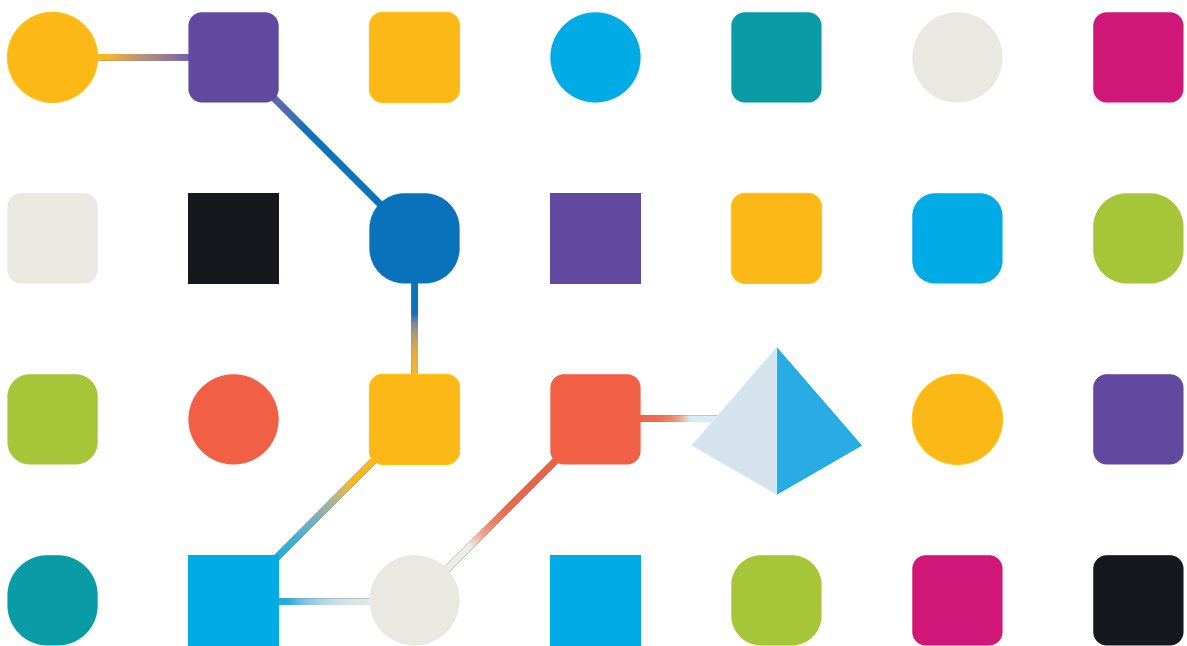


blueprism[®]

Interact 4.1

リリースノート

Document Revision: 1.0



商標および著作権

本ガイドに記載されている情報は、Blue Prism Limitedおよび/またはその関係会社が独占的に所有する機密情報であり、権限を与えられたBlue Prism担当者の書面による同意なしに、第三者に開示してはなりません。本文書のいかなる部分も、複写機などの電子的あるいは機械的な形式や手段を問わず、Blue Prism Limitedまたはその関係会社の書面による許可を得ることなく、複製または送信してはなりません。

© Blue Prism Limited 2001 – 2023

Blue Prism、Blue Prismのロゴ、およびPrismデバイスは、Blue Prism Limitedおよびその関係会社の商標または登録商標です。All Rights Reserved.

その他のすべての商標は本文書によって確認され、各所有者のために使用されています。

Blue Prism Limitedおよびその関係会社は、本ガイドで言及する外部Webサイトの内容に関して、責任を負いません。

Blue Prism Limited, 2 Cinnamon Park, Crab Lane, Warrington, WA2 0XP, United Kingdom。
英国で登録: 登録番号 4260035。電話: +44 370 879 3000。Web: www.blueprism.com

内容

リリースノート	4
Interact 4.1 – 2020年11月	4
HubとInteract 4.0をバージョン4.1にアップグレードする	7
前提条件	7
アップグレード手順	7
アップグレードのトラブルシューティング	9
旧リリース	10
Interact 4.0 – 2020年9月	10

リリースノート

Interact 4.1 – 2020年11月

このリリースノートは、オンプレミス構成で提供されるBlue Prism Interact(Interact)の4.1リリース用です。

アップグレード

Blue Prism InteractおよびHubアップグレーダーは、カスタマーポータルからダウンロードできます。この使いやすいツールは4.0から4.1にアップグレードされます。詳しくは、「[HubとInteract 4.0をバージョン4.1にアップグレードするページ7](#)」を参照してください。

機能強化

このバージョンのInteractには、次の新機能と機能強化が導入されています。

エリア	変更の説明
API	2つの新しいAPIが導入されました。 <ul style="list-style-type: none">● 送信を生成 – Digital Workerは、Interactユーザーに代わって送信を実行できます。これにより、人間とDigital Workerのコラボレーションが根本的に強化されます。● フォームアクセス別にユーザーを取得 – Digital Workerは、指定したフォームにアクセスできるさまざまなユーザーを表示できます。これは、上述の新しい「送信を生成」APIに必要です。
フォーム	Interactフォームがワークキューに送信された場合に、送信者の詳細が含まれるようになりました。送信者の情報は、自動化の一部として使用できます。この情報には、ユーザーのHub ID、ユーザー名、名、姓が含まれます。
インストーラー	Interactインストーラーには、次の機能強化が行われました。 <ul style="list-style-type: none">● APIキーを画面に表示する – インストールの終了時にInteract Remote APIシークレットキーが表示され、ユーザーのクリップボードにコピーできます。このキーは、Blue PrismでInteract APIをセットアップするために使用されます。このキーは、インストールのルートディレクトリに保存されます。● SQL画面の強化:<ul style="list-style-type: none">● 接続をテスト]ボタン – 入力した情報でSQL接続を正常に確立できることを確認します。接続が正常に完了しないと、インストールの次のステップに進めません。● 前のSQL画面から継承された値 – ユーザーは複数の画面で同じSQL情報を入力する必要がなくなります。

修正と改良

このバージョンのInteractでは、次のような修正とマイナーな改良が加えられました。

エリア	変更の説明
インストーラー	<p>Interactインストーラーには、次の改良が行われました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大ユーザー数の増加 – 以前は、最大プールサイズにデフォルト値が使用されていました。最大プールサイズが500に設定され、より多くのユーザーが使用できるようになりました。 法的および視覚的な強化： <ul style="list-style-type: none"> 使用許諾契約書 (EULA) が再フォーマットされました。 インストーラー全体で、発行者名が「Blue Prism Limited」に更新されました。

Web APIサービスの更新

Interactのこのリリースの一部として、Interact APIサービスリリースファイルがバージョン1.2.1に更新されました。

このバージョンのInteractでは、Web APIサービスとユーティリティ(Interact API Blue Prism VBO) に以下の新機能と機能強化が導入されています。

エリア	変更の説明
アクション	<p>バージョン1.2.1には、次の新しいアクションが含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 送信を生成 フォーム名別にユーザーを取得 <p>次のアクションは、ユーティリティ(Interact API VBO) にのみ表示され、Web APIサービスの構成を更新]アクション(アクションの変更) と [ステータスを更新]アクション(アクションの移動) にマッピングされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> フィールドの状態をオプションに変更 フィールドの状態を必須に変更 フィールドの状態を読み取り専用に変更 フィールドの状態を非表示に変更 ページの状態を表示に変更 ページの状態を非表示に変更 送信を履歴に移動 送信を承認済みに移動 送信をレビューに移動 送信を却下済みに移動 送信を下書きに移動 送信を受信トレイに移動 送信をアーカイブ済みに移動

エリア	変更の説明
アクション	<p>ユーティリティ(Interact API VBO) の次のアクションは、上記のアクションに置き換えられました。</p> <ul style="list-style-type: none">• 構成を更新• 更新ステータス <p>この2つのアクションは、今後のリリースで削除されます。</p>

Interact Web APIサービスの詳細については、「」[ユーザーガイド](#)」を参照してください。

既知の問題

このリリースで顕著な問題のリストは、知識ベースで維持されます。詳細については、[こちら](#)をクリックしてください。

HubとInteract 4.0をバージョン4.1にアップグレードする

🔗 アップグレードが完了したらHubにログインし、CTRL + F5を押してキャッシュをクリアするようユーザーに指示します。これにより、すべてのWebページが更新され、ユーザーインターフェイスの変更が確実に更新されます。

HubとInteractのアップグレードは、専用のアップグレードツールであるBlue Prism InteractおよびHubアップグレーダーを使用するシンプルなプロセスです。アップグレーダーは、HubとInteractのバージョン4.0を4.1にアップグレードする場合にのみ使用できます。

営業時間外にアップグレードを実行するようスケジュールを立てることをお勧めします。

前提条件

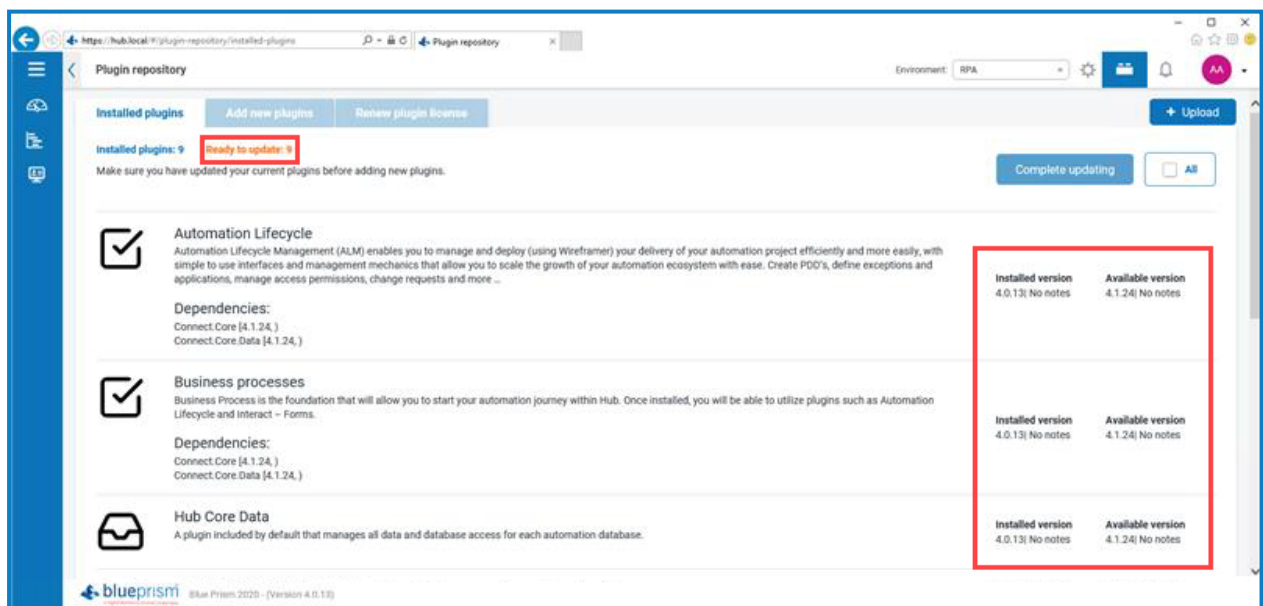
- HubとInteractのバージョン4.0がインストールされている。
- 全員がIMSサーバーからログアウトしている。
- すべての関連データベースをバックアップ済み。データベースはアップグレードの影響を受けませんが、アップグレードを実行する前にデータベースをバックアップすることをお勧めします。

🔗 アップグレーダーは、アップグレードプロセスの一環として実行中のWebサイトを自動的に停止します。手動で停止する必要はありません。

アップグレード手順

1. Blue Prism InteractおよびHubアップグレーダーをBlue Prismポータルからダウンロードします。
2. アップグレーダーを実行し、指示に従います。
3. アップグレーダーが完了したら、Hubにログインし、プラグインリポジトリを開きます。

リポジトリには、現在インストールされているバージョンと使用可能なバージョンの詳細が表示され、更新できるプラグインがあることが示されます。



4. **すべて]**チェックボックスをオンにして、**更新を完了]**をクリックします。
選択したプラグインの新しいバージョンがインストールされ、バージョン4.1へのアップグレードが完了します。
5. Hubがインストールされているすべてのマシンで、このプロセスを繰り返します。

アップグレードのトラブルシューティング

アップグレードが途中でエラーで終了しました。

アップグレードを再試行する前に、アップグレード中に作成されたエラーメッセージとログファイルのすべてに目を通し、問題がすべて解決されていることを確認してから、アップグレードを再試行してください。問題が解決しない場合は、Blue Prismサポートにお問い合わせください。

アップグレード後、InteractまたはHubにログインしようとする、IISでSignalRのWebサーバーのオーバーロードに関するエラーが表示されます。

このエラーはごくまれにしか発生しませんが、発生した場合はサイトを再ロードし、IISでアプリケーションプールを再起動します。

アップグレードプロセス中にインストールをキャンセルしましたが、エラーが表示されます。

アップグレードプロセス中は、インストールをキャンセルしないことをお勧めします。ただし、エラーが表示されてもロールバックは正常に完了します。

旧リリース

Interact 4.0 – 2020年9月

このリリースノートは、オンプレミス構成で提供されるBlue Prism Interact(Interact) の4.0リリース用です。

重要なお知らせ

このリリースをインストールする前に、**制限事項**のセクションを確認してください。

機能強化

このバージョンのInteractには、次の新機能と機能強化が導入されています。

説明
Interactはサポート性を確保するために.NET Core 3.1に移行されました。
送信]タブに新しい受信トレイ機能が追加されました。受信トレイは、人間とDigital Workerのコラボレーションを可能にする場所です。送信はInteract Web APIサービスを使用して受信トレイに移動されます。これにより、ユーザー(人間)はDigital Workerと協力して、要求された情報を更新し、返されたコンテンツを確認することで応答できるようになります。
インストールプロセスの管理と調整のために、Interactインストーラーが追加されました。以前のインストールでは、Blue Prismコンサルタントが必要でした。
セキュリティを強化するため、このリリースでInteractにコード難読化が導入されました。
Interactのappsettings.jsonの秘密情報がすべて暗号化されるようになりました。
負分散インフラストラクチャがInteractでサポートされるようになりました。

修正と改良

以下の表に、Interactのこのリリースで加えられた修正と改良を示します。

説明
Interactのオンプレミスバージョンをサポートするため、クラウドサービスは廃止予定であり、代替のサービスはRabbitMQメッセージブローカーやファイルサービスです。
Kentoフォントを使用する日本語以外のすべての言語のフォントが、ユーザーインターフェイスでRobotolに変更されました。

制限事項

以下の表に、Interactのこのリリース内の制限を示します。

テーマ	説明	回避策
IADA	数値要素は「テキスト」形式でBlue Prismキューに送られます	Blue Prism内で一度数値にキャストを行う
送信を取得	送信を取得] Web APIサービスを使用する場合、数値要素は「テキスト」形式で送られます	Blue Prism内で一度数値にキャストを行う

テーマ	説明	回避策
送信を取得	Get Submission Web APIサービスを使用して [日付]要素を取得すると、日付が「DateTime」形式で返されます	Blue Prism内で一度テキストにキャストを行います。Interact内のさまざまな日付形式をサポートするには、テキストの使用を推奨します
送信を作成	Web APIサービスを使用して新しい送信を作成する場合、 [数値]要素が空白のままのとき、送信は成功しません	数値が設定された数値要素フィールドを送信します
送信を作成	Web APIサービスを使用して新しい送信を作成する場合、 [ラジオグループ]要素が空白のままのとき、送信は成功しません	値が設定されたラジオグループ要素フィールドを送信します
送信を作成	Web APIサービスを使用して新しい送信を作成する場合、 [アップロード]要素を使用すると何も返送することはできません	なし、ロードマップ機能
送信を編集	Web APIサービスを使用して送信を編集する場合、 [アップロード]要素を使用すると何も返送することはできません	なし、ロードマップ機能
Interact フォームの優先度とSLA	優先度とSLAはInteractフォームクリエイターで設定できますが、IADAの [次の優先度のアイテムを取得] (GNPI) 機能はオンプレミス構成では使用できないため、このリリースでは重要ではありません。	適用不可
ルール	Blue PrismからInteractフォームを更新する場合、ルールは強制されません。たとえば、フラグが設定されているときに非表示フィールドを表示するルールは、更新時にフラグが正しく設定されていると起動されません。フィールドが読み取り専用でない場合、ユーザーはフィールド内をクリックしフォーム内の別の場所をクリックすると、適用されたルールを確認できます	Interact APIオブジェクトの [構成を更新] アクションを使用して、いくつかのルールを置き換えることができます。
検証	Blue PrismからInteractフォームを更新する場合、正規表現や文字列の長さなどのその他の検証は実行されません。フィールドが読み取り専用でない場合、ユーザーはフィールド内をクリックしフォーム内の別の場所をクリックすると、適用されたルールを確認できます	なし

これらの新機能を使用するには、「」「Interactユーザーガイド」を参照してください。